

平成27年度事業報告

社会福祉法人 嬉 泉

1. 事業概況

(1) 法人全体

平成27年度は、全27事業、職員数は常勤353人、非常勤168人、総勢521人となった(平成28年3月31日現在)。そのため前年度に引き続き運営体制の合理化に向けた管理システムの拡充、職員の資質の向上を目指して研修体制の充実を図ってきた。特に管理者層の育成が重要であることから、本年度は各事業所のトップマネジメントを担う立場の園長会メンバー(園長、副園長、園長補佐等)への研修の機会を設けた。具体的には、各事業所の人材育成の実態としてどのようにスーパービジョンを行っているかを、各自が事例を持ち寄って検討し、お互いに議論する中での気づきを求めた。

また本年度は、前年度における石井哲夫前常務理事の急逝を請けて、再構築した法人事業執行体制で迎えた最初の年度となった。具体的には、通常事業において基本的に同一エリア内にある複数の施設・事業所から成る「事業拠点」を運営単位とし、その事業場の長である場長の責任のもとで運営を行った。拠点を越える法人全体の事業については、「執行本部」を設置した。執行本部は、法人業務の企画立案を主体的に行うために常務理事を中心に法人内部理事で組織する「執行役員会」と、その執行役員会の企画立案に基づく法人業務の具体的な執行における検討と意志決定を行うために全事業拠点の場長が参集する「場長会」とから構成し、場長会は毎月定例的に会合を実施した。更に場長会の下に法人業務、特に各事業拠点を超えて実施する必要がある業務を遂行する機能として「経営戦略局」「研究啓発局」「本部事務局」の3局を設置した。3局はそれぞれプロジェクトや課題に応じた「係」と「委員会」を擁し、全事業所横断的に人選を行い組織して業務に当たった。これにより、結果として法人業務の職員に対する啓発となり、活動の活性化に繋がった側面もあった。

新規事業としては、平成27年10月に袖ヶ浦の地域生活支援センターたのしみにおける児童発達支援事業「ヒツジ・グループ」を基盤に「児童発達支援センターヒツジ」を新たに袖ヶ浦市下新田1680の敷地内に設置し事業を開始した。第2に袖ヶ浦市から管理者として指定を受けて運営を開始した福祉作業所うぐいす園については、主に受注作業を担っている非常勤職員の多くが残留してくれたこともあり、利用者、保護者ともに混乱なくスムーズな引継ぎが出来た。

(2) 各事業拠点

1) 「子どもの生活研究所」の療育部門は、めばえ学園、おおらか学園、児童ディサービスよろこび、こぐま学園、相談支援事業所、東京都発達障害者支援センターから構成された保育部門と併せた多機能型施設であり、保育部門と有機的に連携させた「クローバーシステム」を基盤に「場長」のもとで一体的に管理・運営にあたった。

めばえ学園は、利用者数が減少していたため、安全管理と療育の質を低下させないことを前提として利用人数を増加させていくことに努めた。おおらか園はそれまで別に運営してきた分室それぞれを本園に統合し一体的な運営を行った。児童ディサービスよろこびに利用人数の減少していることあり、また地域での一定の役割は果たしたと考え、児童ディサービスよろこびを27年度末に廃止とした。こぐま学園は、26年度より保護者の協力・理解を得て運営方針を変更する一方新たなニーズへの対応を行った。相談支援事業所については、めばえ学園・おおらか学園の利用者だけでなく、他事業所の利用者の計画相談など積極的に実施した。東京都発達障害者支援センターについては、相談支援とともに区市町村の発達障害者支援体制整備に向けた活動に力点を置き運営した。また東京都から法人へ委託された「発達障害者相談支援スキルアップ事業」の責任企画運営を行った。

2) 「子どもの生活研究所」保育部門は、すこやか本園（ゾウ）、分園（クジラ・キリン）、宇奈根なごやか園は、主管課等への諸手続について協働体制をとるなど、法人の保育部門として共通の基盤づくりに努めた。また、すこやか園（分園を含む）、宇奈根なごやか園、すこやか広場や障害児通園施設めばえ学園は、交流を図る場をつくり、子ども達が様々な経験をすることができるように工夫した。また、地域に開かれた家族への子育て支援や近くの老人施設や学校との関係を持ち世代間交流を図った。

保護者との関わりに関しては、保護者に園と家庭が協力しながら「ともに子育てをしていく」という園の基本的な姿勢への理解に努めた。

保育の目標は、子どもが自発的・意欲的に友達や保育者と関わることによって相互の信頼関係を結び、それを土台として、様々な体験を通して受容的交流理論の基本的な考えに基づいた保育を行う。『主体的に行動する子ども』『遅く自分の力を働かせる子ども』『人を思いやる豊かな心を持つ子ども』を育てることを目標とした。

3) 「セタック」は、世田谷区発達障害相談・療育センターが中心となり、烏山・桜新町子育てステーション、及び成城・梅ヶ丘発達相談室が連携を取りながら、発達障害児への相談・療育・地域支援を推進していく世田谷区の事業である。年々利用者が拡大し、地域支援事業もその種類や量が増大してきている。今年度は、引き続き学校教育との連携に力を入れ、区と協働して教育委員会との連携をはかり、教員の研修会や事例検討会で小中学校に出向いて活動する機会を多く得た。

世田谷区との関係は、平成 29 年度の指定委託に向けたスケジュールの概要が提示され、平成 28 年度に 5 月に公募、8 月に指定事業者決定される見通しとなった。

療育部門（烏山・桜新町発達相談室含む）と、相談・地域支援部門（梅丘・成城

発達相談室含む)に分けて別の事業者へ委託予定とのことで、本法人は相談・地域支援部門に応募する予定である。

- 4) 「嬉泉福祉交流センター袖ヶ浦」は、袖ヶ浦のびろ学園、袖ヶ浦ひかりの学園、並びに地域生活支援センターたのしみ及び袖ヶ浦市福祉作業所うぐいす園で構成し、「袖ヶ浦統括施設長」のもとで一体的に管理・運営した。袖ヶ浦のびろ学園では、東京都からの入所利用が減少してきており、千葉県からの利用者が過半数を占めるなど利用者の構成が変化してきているが、その療育支援機能の専門性を活かして、強度行動障害への対応などの利用ニーズに積極的に応えた。袖ヶ浦ひかりの学園では、前年度から近隣地域に在宅の利用者の日中活動ニーズに応える「きずなグループ」を編成し、生活介護事業の拡充に努めた。地域生活支援センターたのしみは、10月から場所を下新田に移転し、児童発達支援センターを開始した。袖ヶ浦市福祉作業所うぐいす園は、新たに運営を開始したが、引き続き利用された利用者及び保護者からは概ね好評をいただき、スムーズな滑り出しとなった。
- 5) 「板橋区立赤塚福祉園」は、デイセンターきらら(生活介護事業)、ワークセンターはばたき(就労継続支援B型事業)、赤塚ホーム(緊急保護事業)からなっているが、福祉園全体として、一体的な運営を行った。また、本年度は、指定管理者独自事業として、延長サービス実施に加え、土曜日開園を3回実施した。生活介護事業においては、医療的ケアに関わる事故が発生したが、これを契機に運営体制の改善を図った。就労継続支援B型事業においては、他福祉園との共同受注に加え、ラスク作業や受注作業等での法人内事業所との連携が定着した。緊急保護事業については、通常の利用に加え、介護者の高齢化に伴う急な入院等、緊急を要する要請に応じた利用が多く、職員の確保にあたっては、福祉園全体の協力体制により対応した。地域との関係においては、地域行事にも積極的に参加し、より密接な交流を進めることができた。その結果、地域のオープンスペースでの展示販売の機会を得ることができた。板橋区との関係については、プロポーザル方式による平成28年度からの指定管理者公募に応募し、選考の結果、引き続き指定管理者として指定された。
- 6) 「清瀬市子どもの発達支援・交流センター」は、清瀬市よりの委託事業であり、相談・療育、地域支援を実施している。「地域と連携・交流しながら地域にぐらす親子をささえる」を基本理念として、法人が長年にわたり培ってきた実績に基づく理念「受容的交流理論」や、現スーパービジョン体制の下に心身の発達に遅れやかたよりのある子ども、さらに社会生活上何らかの問題を持つ子どもの相談・訓練指導を通して成長・発達を援助し、地域での育ちを支えることを目的とし運営を行った。

また、対象となる本人や家族だけではなく、その方を取り巻く関係者への支援をする等、地域の支援力の向上に努めると共に、相談・療育・支援の場の提供だけ

ではなく、地域療育の拠点となることを目指し、地域活動にも積極的に参加をしながら運営に努めた。

- 7) 「大田区立こども発達センターわかばの家」は、心身の発達に遅れや偏りのある就学前の幼児とその保護者を対象に早期からの支援を行う機関である。3年間の一部業務委託期間を経て、本年度4月から全面業務委託となった。従来の療育事業に加え、区が直営で行っていた「相談支援事業」「地域支援事業」（幼稚園・保育園への訪問・相談支援、こども発達支援講演会の開催等）を行った。相談件数が増化してきているが、相談から療育の流れを一体的に行うことで、なるべく必要に応じた支援を効率的に提供できるよう柔軟な運営に努めた。併せて、相談件数の増加と共に療育事業の利用者の増加、幼稚園・保育園からの援助要請の増加等、ニーズが増大してきていることへの対応について、区に問題提起を行った。引き続き、今後の事業の方向性について区と検討協議していく必要がある。

2. 法人本部

(1) 本部事業

1) 理事会関係

① 理事会並びに評議員会の開催状況

ア 理事会

回	開催日	出席数	議事内容
1	27.5.26	6/7	平成26年度事業報告、平成25年度収入支出決算、平成27年度資金収支補正予算案、社会福祉法人嬉泉諸規程の整備、建物の取得、新規事業の開始
2	27.9.29	6/7	平成27年度収入支出補正予算案、社会福祉法人嬉泉諸規程の整備、東京都福祉保健局実地検査指摘事項の改善状況報告、東京都世田谷区認可保育所整備・運営事業者募集への応募
3	27.12.18	5/7	平成27年度収入支出補正予算案、社会福祉法人嬉泉諸規程の整備、袖ヶ浦ひかりの学園パン焼きオープン等機器類購入計画、袖ヶ浦ひかりの学園パン焼きオープン等機器類購入一般競争入札実施に係る予定価格の設定、袖ヶ浦ひかりの学園パン焼きオープン等機器類購入一般競争入札実施に係る入札参加条件、指定障害児通所支援事業児童デイサービスよろこびの廃止
4	28.1.23	6/7	東京都世田谷区認可保育所分園の整備・運営の提案、袖ヶ浦ひかりの学園パン焼きオープン等機器類購入に係る業者の選定
5	28.3.25	6/7	平成27年度収入支出補正予算案、平成28年度事業計画案、平成28年度収入支出予算案、社会福祉法人嬉泉諸規程の整備、次期評議員の委嘱、

			運用財産（土地）の取得、第三者委員の選任、施設長人事
--	--	--	----------------------------

イ 評議員会

1	27.5.26	12/16	平成26年度事業報告、平成25年度収入支出決算、平成27年度資金収支補正予算案、社会福祉法人嬉泉諸規程の整備、建物の取得、新規事業の開始
2	27.9.29	14/16	平成27年度収入支出補正予算案、社会福祉法人嬉泉諸規程の整備、東京都福祉保健局実地検査指摘事項の改善状況報告、東京都世田谷区認可保育所整備・運営事業者募集への応募
3	27.12.18	12/16	平成27年度収入支出補正予算案、社会福祉法人嬉泉諸規程の整備、袖ヶ浦ひかりの学園パン焼きオープン等機器類購入計画、袖ヶ浦ひかりの学園パン焼きオープン等機器類購入一般競争入札実施に係る予定価格の設定、袖ヶ浦ひかりの学園パン焼きオープン等機器類購入一般競争入札実施に係る入札参加条件、指定障害児通所支援事業児童デイサービスよろこびの廃止
4	28.3.25	14/16	平成27年度収入支出補正予算案、平成28年度事業計画案、平成28年度収入支出予算案、社会福祉法人嬉泉諸規程の整備、次期評議員の委嘱、運用財産（土地）の取得、第三者委員の選任、施設長人事

② 監事による監査

ア 監査実施日

- ・事業監査…平成27年5月19日(火)
- ・会計監査…平成27年5月20日(水)

イ 実施場所

- ・事業監査 法人本部（子どもの生活研究所）
- ・会計監査 袖ヶ浦のびろ学園

ウ 監査内容

平成26年度における理事の業務執行状況及び法人の財産状況

エ 監査結果

事業実施報告、決算書、決算附属明細表ならびに財産目録は適正

③ 法人の事務処理体制

ア 経理関係

	会計責任者	出納職員	契約担当者	現金保管責任者
職・氏名	常務理事 石井 啓	事務局長 亀谷一雄	理事長 須藤祐司	事務局長 亀谷一雄
発令月日	H26.6.20	H9.4.1		

イ 公印等管理

	代表者印管理	法人印管理
職・氏名	常務理事 石井 啓	理事 山崎順子

④ 資金関係

ア 寄付金

寄付者	目的	金額
一般寄付者他	運営費(本部)	61,160,150
一般寄付者他	運営費(施設)	2,599,140
合 計		63,759,290

イ 地方公共団体補助金

東京都	サービス推進費他	177,056,528
世田谷区	委託料他	515,121,847
千葉県	サービス推進費割愛分他	11,048,190
千葉県君津児童相談所	一時保護委託費	166,460
千葉市	サービス推進費割愛分	2,283,000
袖ヶ浦市	相談支援事業委託料	3,000,000
板橋区	委託料	422,979,800
清瀬市	〃	76,886,000
大田区	〃	315,978,848
狛江市	運営費	550,680
杉並区	運営費	109,758
東京善意銀行	助成金	145,106
合 計		1,525,326,217

⑤実施事業一覧

事業拠点	事業所	施設種別	施設長氏名	定員	職員数
子どもの生活研究所 【療育】	めばえ学園	障害児通所支援(児童発達支援センター) *2	樋口美津子	30	11
	おおらか学園 同 分室	障害福祉サービス事業(生活介護) *2	樋口美津子	26	15
	子どもの生活研究所(相談部・こぐま学園)	児童の福祉増進につき相談に応じる事業		-	2
	児童デイサービス よろこび	障害児通所支援(児童発達支援及び放課後等デイサービス) *2	樋口美津子	10	4
	東京都発達障害者支援センター(トスカ)	公益事業	山崎 順子	-	7

子どもの生活研究所 【保育】	すこやか園 (ゾウ、クワ、キノ)	認可保育所 *2	稲垣 修	96	51
	宇奈根なごやか園	認可保育所 *2	坂田 朗	80	21
	すこやか広場	地域子育て支 援拠点事業	稲垣 修	—	2
世田谷区発達障害 相談・療育事業 (セタック)	療育センター げんき	公益事業	沼倉 実	—	36
	烏山・成城相談室			—	4
	桜新町・梅丘相談室			—	4
嬉泉福祉交流センター 袖ヶ浦	袖ヶ浦のびろ学園	福祉型障害児 入所施設 *1	柳 淳一	50	37
	短期入所 袖ヶ浦 のびろ学園	障害福祉サー ビス事業 (短 期入所)	柳 淳一		
	袖ヶ浦ひかりの学 園	障害者支援施 設 *1	石井 啓	53	42
	短期入所 袖ヶ浦 ひかりの学園	障害福祉サー ビス事業 (短 期入所)	石井 啓		
	地域生活支援セン ター たのしみ	相談支援事 業、障害児通 所支援*2	亀谷 一雄	—	7
	日中一時支援 たのしみ	日中一時支援 事業	亀谷 一雄		
	グループホーム 春のひかり	障害福祉サー ビス事業 (共 同生活援助、 共同生活介 護) *2	石井 啓	4	4
	袖ヶ浦市福祉作業 所うぐいす園	障害福祉サー ビス事業 (生 活介護) *2	石井 啓	12	5
障害福祉サー ビス事業 (就 労継続支援B 型) *2		30			
板橋区立赤塚福祉園	デイセンター きらら	障害福祉サー ビス事業 (生 活介護) *2	小池 朗	60	32
	ワークセンター はばたき	障害福祉サー ビス事業 (就 労継続支援B 型) *2	小池 朗	40	12
	赤塚ホーム	板橋区緊急保 護事業	小池 朗	8	11
清瀬市子どもの発達支援交流センター (とことこ)	公益事業	田中 慶子	—	8	
大田区立こども発達センターわかばの家	公益事業	大岩香代子	—	46	

注) 事業の種類 *1: 第一種社会福祉事業

*2: 第二種社会福祉事業

職員数: 常勤職員

2) 施設整備

① 嬉泉福祉交流センター袖ヶ浦

- ・菓子工房改修工事（地域生活支援センターたのしみ移設に伴う機器移設等）
総費用 1,188千円（自己負担 1,188千円）
- ・つづきの家屋根改修工事
総費用 1,944千円（自己負担 1,944千円）
- ・つづきの家内部改修工事（地域生活支援センターたのしみ移設のため）
総費用 3,240千円（自己負担 3,240千円）
- ・放送設備入替
総費用 1,404千円（自己負担 1,404千円）
- ・袖ヶ浦ひかりの学園パン焼きオープン機器更新
（平成27年度 東京都民間社会福祉施設整備改修費補助金）
総費用 3,326,400円（補助金 1,663,000円、自己負担 1,663,400円）

3) 職員採用

① 平成28年度新規職員採用の概要

- ア 経団連の採用選考に関する指針が変更となり、採用活動が短期集中型になることが予想されたので日程管理を慎重にかつ迅速に実施した。
- イ 嬉泉基幹人材確保のため常勤総合職を基本として採用を実施した。
- ウ 新たに設定した常勤専門職は、必要ポストを限定して採用した。
- エ 一般公募採用に加え、全職員のネットワークを活用した優秀な人材情報の紹介と両輪で実施した。
- オ 昨年に引き続き、「マイナビ2016」を稼働させ、新卒をターゲットに早期採用活動を展開した。
- カ 常勤職員の採用活動は、採用係（本部事務局）、一次面接担当（各事業所に推薦依頼）、実習受け入れ担当（各受け入れ事業所にて指名）およびリクルーターにて実施し、最終面接は、役員および場長にて実施した。
- キ 非常勤職員の採用活動は、各事業所にて行った。

② 採用業務実施概況

- ア 5月30日 就職ウェブサイト「マイナビ2016」を通じて嬉泉にエントリーした学生を中心に第1回就職説明会を開催した。希望者には採用面接まで進んでもらい出席者の過半数が面接に臨んだ。
参加：46名 面接：29名 実習：26名 内定：9名
- イ 7月1日 学校（200校）に対し求人票送付、同時に法人HPにて公募手続き開始
- ウ 8月22日 第2回就職説明会を開催した。出席者全員が面接を希望した。
参加：24名 面接24名 実習：22名 内定：8名

- エ 9月14日 世田谷区、ハローワーク渋谷共催「三茶 DE 保育」就職相談会に参加した。
- オ 10月10日 第3回採用説明会実施。既卒も含めた公募採用活動として実施した。心理職志望者が増加した。
参加：39名 面接39名 実習24名 内定 5名
- カ 12月 6日 世田谷区主催、マイナビ企画の大阪での保育士リクルートに参加した。
- キ 1月20日 世田谷区、ハローワーク渋谷共催「三茶 DE 保育」就職相談会に参加した。
- ク 2月14日 東京都主催、渋谷ヒカリエで開催された「保育応援フェスタ」に参加した。
- ケ 3月28日 ハローワーク木更津との共同企画、「嬉泉ミニ面接会」をハローワーク木更津で開催し、即日で3名採用した。
- コ 11月—3月 全体説明会は実施せず、個別対応により採用活動を実施。
参加：38名 面接：36名 実習：27 内定：20
- サ 累計 参加：147名 面接：128名
実習： 99名 (内22名実習辞退、9名実習後辞退)
内定：42名 (内7名辞退)
採用：35名

③ 常勤職員採用結果

		心理職	支援員	保育士	厨房	事務等	医務	計
男女別	男	1	3	1	1	0	0	6
	女	7	7	10	4	0	1	29
新既別	既卒	5	5	3	5	0	1	19
	新卒	3	5	8	0	0	0	16
学歴別	院卒	6	0	0	0	0	0	6
	大卒	2	8	9	0	0	0	19
	他	0	2	2	5	1	1	10
	計	8	10	11	5	0	1	35

④ 職員数の推移

平成25年4月1日から平成28年4月1日の間の職員数の推移は下表の通りである。

	常勤職員	非常勤職員	派遣社員	計
平成25年4月1日	327	124	3	454
平成26年4月1日	335	141	2	478
平成27年4月1日	360	156	2	518
退職	38	28	1	67
採用	45	32	0	77
平成28年4月1日	367	160	1	528

※嘱託契約（医師等）を除く

4) 職員研修

① 全体研修

ア. 自然体験学童合宿研修

本年度は実施しなかった。

イ. 療育合宿研修

ア) 夏季療育合宿

日時：平成27年8月15日～平成27年8月17日

場所：嬉泉福祉交流センター袖ヶ浦

内容：『受容的交流』の実践研修として、自閉症児・者と生活をともにしながら学ぶ。参加利用者とのかかわりを通して、各自の研修課題に取り組む。

参加利用者：10名

参加職員：20名（合宿総務7名、合宿メンバー13名）

イ) 冬季療育合宿

日時：平成27年12月19日～平成27年12月21日

場所：嬉泉福祉交流センター袖ヶ浦

内容：『受容的交流』の実践研修として、自閉症児・者と生活をともにしながら学ぶ。参加利用者とのかかわりを通して、各自の研修課題に取り組む。

参加利用者：10名

参加職員：20名（合宿総務6名、園長会より1名、合宿メンバー13名）

昨年に引き続き、「新人職員を除く中堅層の職員」を主たる研修対象とし、各事業所からの推薦によって参加職員を選抜した。以前から職員が合宿参加による負担感や抵抗感を持ちやすいことが検討課題に挙がっていたため、研修の体制や進め方を見直し、各参加職員がなるべく主体的に前向きに取り組めるよう、各事業所の協力のもとに事前事後を含めたスーパービジョンやフォロー体制の整備に努めた。特に合宿終了後、合宿の経験を整理する機会として、少し間（1カ月程度）をおいて、「振り返りの会」を実施した。

結果として、事後のアンケート（研修報告）でも、「合宿において、自分自身への課題に取り組むことができた」、「合宿に参加したことで、気づくや気持ちの変化があった」「合宿後日常の現場での変化があった」と答えた職員が多かったが、それぞれの職員にとって、実感や深まりのある研修成果につながった。

ウ. 新人研修・全体職員研修

日時：平成28年3月12日～13日

場所：①嬉泉福祉交流センター袖ヶ浦（12日：新人研修）

②浦安ブライトンホテル東京ベイ（13日：全体職員研修・新規採用職員含む）

テーマ：『改めて受容的交流を考える』

参加職員：①新人研修 57名（平成26年度中途採用職員10名、平成27年度新規採用職員27名、研修係・スタッフ20名）

②全体職員研修 283名（全職員対象・平成27年度新規採用職員含む）

新人研修では、新規採用職員に向けて、「嬉泉の手引き」に基づき、法人の職員としての基本的事項（法人の理念、人権擁護、倫理綱領等）についての周知を図ることと、交流を目的として、「新人オリエンテーション・ガイダンス」、「新人交流セッション」、「夕食作り・懇親会」等を実施した。

全体職員研修では、ここにきて改めて社会福祉法人嬉泉の原点であり支援理念である「受容的交流」に立ち返り、またその考えと心を継承すべく、『改めて受容的交流を考える』をテーマとして研修を実施した。「シンポジウム『受容的交流の継承』」をはじめとし、「須藤理事長による講義『仕事を楽しくする工夫』」、「事業概要説明」、「全職員参加の交流セッション『私の事業所の良いところ自慢』」等、充実した内容となった。

エ. 職層別研修

日時：平成28年2月15日

場所：嬉泉福祉交流センター袖ヶ浦

テーマ：『スーパービジョンを考える』

管理職としてのスーパービジョン実践を取り上げ、実際の事例の検討を通して、スキルアップを図る。

参加職員： 管理職（園長会メンバー） 21名

事業所や職員数が増大した中で、今後、基本理念のもとに法人としてのアイデンティティーを保持し、支援の質のさらなる向上を果たしていくために、『管理職層』のスーパービジョン機能が重要であることから、『管理職層』を対象に研修を実施した。

事前に、各自管理職としてのスーパービジョンの実践事例を提出し、当日はその中から2つの事例を取り上げ、グループワークを行った。それによって、事業所を超えて管理職として抱える状況や課題の共有を図り、学び合う良い機会となった。

オ. 事業所間職員交流研修

- ・各拠点における夏祭りや餅つき等の季節行事の際、それぞれ各事業所に職員の研修参加を呼びかけ、随時交流研修を実施した。
- ・セタックの烏山相談室からわかばの家に通年で継続的（週1回）に、職員1名の派遣研修を行った。
- ・わかばの家から袖ヶ浦、世田谷、板橋の事業所へ、夏季と冬季の自主通所期間を利用し派遣研修を行った（10名）。

カ. 事務職員研修

日時：平成27年11月23日（木）

場所：嬉泉福祉交流センター袖ヶ浦

内容：各事業拠点における事務執行上の課題等について

各場長からの「各事業拠点における事務執行上の課題などについて」の発題と、それを受けてのグループワークを実施

参加職員：各事業拠点の事務担当職員等 28名（場長含む）

5) 福利厚生

① 新人職員歓迎会

- ・目的・内容：花見を通して、新年度より各事業所に配属された新任職員を各事業所で歓迎し、前任職員との交流を行った。
- ・期日：平成27年4月
- ・場所：各事業所

② 年頭所感会

- ・目的・内容：年頭に当たり、理事長・常務理事より所感と今後の方針が述べられた。その後職員同士の懇親を目的とした着席式のパーティーになり、飲食を交えて歓談した。
- ・期日：平成28年1月9日（土）
- ・場所：浦安ブライトンホテル
- ・参加人数； 275名

③ 次世代育成プロジェクト

ア活動概要

平成26年3月19日次世代育成支援対策推進法 第13条に基づく2015年認定事業主として、厚生労働省（東京都労働局）より認定を受ける「クルミンマーク」認定取得後、柔軟な有給休暇の取得、産休育休から戻りやすい環境づくり、職場環境改善に取り組んだ。

イ活動内容

ア) 働き方の見直しに資する多様な労働条件の整備

- ・子の看護休暇、介護休暇について1時間単位で取得を可能とした弾力的運用の実施

（平成27年10月1日） 育児介護休暇等に関する規則の改正

- ・夏秋休み取得促進活動の実施
有給休暇取得促進ポスターを作成し、各事業所へ掲示
- ・有給休暇付与制度について見直しを図る
試用期間3か月満了後、有給休暇付与を行う。
休暇処理簿の改訂を実施

（平成28年4月1日） 就業規則の改正

イ) 育児休暇を取得し、又は子育てを行う女性労働者が就業を継続し活躍できるようにするための取り組みの実施

- ・各事業所園長、場長管理者との復職時面接の実施（平成28年度復職者7名）
- ・「子育てをしながら働く事」をテーマに職員（赤塚福祉園所属支援員）への取材を行った（28年度求人媒体マイナビ掲載準備を行う）

6) 社会に向けての活動

①第31回自閉症実践療育セミナー

本年度は、企画した講師の日程調整が難しく実施しなかった。
次年度平成28年6月25日(土)に延期して実施予定。

②「嬉泉の新聞」の発行

「嬉泉の新聞」では、福祉関係有識者や法人理事等の関係者による巻頭言、法人内トピックスの紹介等、法人に関わる各種情報の公開等を行なっている。年2回の定期発行とし、作成した新聞は、法人関係者、協力者、関係諸機関・団体等に無料配布している。また、嬉泉をより理解いただくために、嬉泉バザーや嬉泉祭りバザーで広報コーナーに置いたり、職員採用説明会等で配布をしている。

ア 発行状況：第72号(10月号) 第73号(3月号)

イ 発行部数：3,000部×2回

ウ 内容

〈第72号〉

- ・巻頭言「袖ヶ浦ひかりの学園30周年」～自閉症く成人施設としてのあゆみ～
嬉泉福祉交流センター袖ヶ浦統括施設長 石井啓
- ・「石井所長の一週忌を迎えて」
- ・トピックス「子ども・子育て支援新制度」
- ・新規事業所「袖ヶ浦市福祉作業所うぐいす園」
「大田区立子ども発達センターわかばの家」(全面委託)
- ・「平成26年度社会福祉法人嬉泉 事業報告/決算報告」
- ・バザー開催のお知らせ (嬉泉バザー・嬉泉祭りバザー)

〈第73号〉

- ・巻頭言「社会福祉法人への新たな期待」—制度改革が進む中で—
社会福祉法人嬉泉理事 高橋利一
- ・「平成28年度の嬉泉のめざす方向性」
社会福祉法人嬉泉常務理事 石井啓
- ・「第五十一回嬉泉バザー報告」
- ・事業紹介「アトリエ・AUTOSの活動」
- ・新規事業所紹介
「地域生活支援センターたのしみ 児童発達支援センターヒツジ」

③ インターネット・ホームページ管理

「嬉泉新聞」と共に、本法人に関わる各種情報の公開を目的として、よりアップ・トゥ・デートな情報を発信した。具体的には以下の通り。

ホームページの主な掲載内容

- ・インフォメーション

- ・嬉泉事業所案内
- ・法人公開情報（運営財務に関する公開情報）
- ・嬉泉バザー開催のお知らせ
- ・次世代育成対策の行動計画のお知らせ
- ・女性活躍推進法の行動計画策定のお知らせ
- ・採用情報
- ・アトリエ・アウトスについて

④ 法人パンフレット・事業所パンフレット

平成26年度に作成した法人の総括的パンフレットを現状に合わせて改訂し、5000部増刷した。さらに、各事業拠点ごとに事業の概要を紹介できるパンフレットを作成した。各事業拠点ごとの作成ではあるが、法人パンフレットとともに合わせて、統一感を図る工夫をした。法人パンフレットと合わせて、本部及び各事業所において活用している。

⑤ 第51回嬉泉バザー

ア 期日；平成27年10月25日（日）

イ 場所；子どもの生活研究所

ウ 会計報告（単位；円）

係	純益
献品	438,305
手芸	145,631
ミニバザー	54,815
食堂	329,046
広報	222,908
子ども	7,134
総務	311,192
合計	1,509,031

⑥ 第38回嬉泉祭りバザー

ア 期日；平成28年2月28日（日）

イ 場所；嬉泉福祉交流センター袖ヶ浦

ウ 会計報告（単位；円）

係	純益
献品	825,104
手芸	99,220
子どもコーナー	55,500
食堂	296,239
広報	170,765
総務	831,499
合計	2,278,327

⑦ 苦情解決

ア 苦情解決実績

事業所	件数	解決年月日
袖ヶ浦	3	27.9.12 / 27.12.11
赤塚	2	27.12.10

イ 苦情解決第三者委員

事業所	氏名	性別	推薦区分	職業等
世田谷	高橋利一	男	関係団体	至誠学舎立川顧問
	小沼肇	男	関係団体	小田原女子短期大学学長
	安藤真洋	男	関係団体	社会福祉法人武蔵野理事長
	金子恵美	女	関係団体	日本社会事業大学教授
セタック	森下由規子	女	関係団体	明星大学准教授
	長谷川幹	男	関係団体	三軒茶屋リハビリテーションクリニック
袖ヶ浦	村田保太郎	男	関係団体	白梅学園大学名誉教授
	山田美和子	女	関係団体	元全国社会福祉協議会職員
	石原敦夫	男	保護者	伊藤忠商事社員
赤塚	関谷公二	男	地域代表	泉福寺住職(元篠ヶ谷戸町会長)
大田	瀧下史代	女	地域代表	入新井地区民生委員
	岡崎照幸	男	地域代表	馬込地区民生委員
	守安富美子	女	地域代表	田園調布地区民生委員

⑧ 施設オンブズ・パーソン活動の実施

ア. 対象施設

袖ヶ浦のびろ学園・袖ヶ浦ひかりの学園・地域生活支援センターたのしみ・袖ヶ浦市福祉作業所うぐいす園

イ. 内容・活動

オンブズ・パーソンに各施設の近況報告及び苦情受付担当者からの現状報告、意見交換を行った。(28.2.19)

ウ 委員

氏名	性別	推薦区分	職業
村田保太郎	男	関係団体	白梅学園大学名誉教授
山田美和子	女	関係団体	元全国社会福祉協議会職員
石原 敦夫	男	保護者会	伊藤忠商事社員

⑨ 第三者評価事業の受審

下記施設において、東京都認証機関による第三者評価事業を受審した。

ア 福祉型障害児入所施設袖ヶ浦のびろ学園

イ 障害者支援施設袖ヶ浦ひかりの学園

- ウ 児童発達支援センター大田区立こども発達センターわかばの家（単独通所）
- エ 児童発達支援事業所大田区立こども発達センターわかばの家（親子通所）
- オ 清瀬市子どもの発達支援交流センター（とことこ）

⑩ アトリエAUTOSの活動内容

■作品展開催

- ア 第16回アートフレンズ展 作品出展
 - ・期間；5月19日～5月24日
 - ・場所；千葉市美術館市民ギャラリー
 - ・主催；千葉幕張ロータリークラブ
- イ アトリエ・アウトス展～自閉症その内的世界の表出X～ 主催
 - ・期間；6月17日～23日
 - ・場所；玉川高島屋S・C南館6階ホワイトモール
 - ・企画；東神開発株式会社 ・後援；世田谷区
- ウ もうひとつの美術館企画『それぞれの物語』
 - ・期間；9月19日～12月6日
 - ・場所；もうひとつの美術館（栃木県）
 - ・主催；もうひとつの美術館（所蔵作品）
- エ 社会福祉法人至誠学舎立川 成育しせい保育園内作品展示
 - ・期間；6月～8月中旬
 - ・場所；成育しせい保育園
- オ アトリエ・アウトス展 主催
 - ・期間；11月10日～15日
 - ・場所；世田谷美術館区民ギャラリーB
 - ・後援；世田谷区
- カ 植草学園短期大学 学園祭 作品出展
 - ・期間；11月14日～15日
 - ・場所；植草学園短期大学
- キ 清水基金50周年感謝の集いにて作品展示
 - ・期間；11月25日
 - ・場所；帝国ホテル

■作品・記事掲載等

（外部）

- ア 社会福祉法人東京コロニーアートビリティ
「ツマイサキ」（持田想一作）、「イソギンチャク」（浜ノ園武生作）
『週刊新刊情報（株式会社トーハン発行）』に作品・作家紹介掲載
- イ 認定NPO法人もうひとつの美術館所蔵作品「溪谷」（持田想一作）が、
公益財団法人 日本ケアフィット共育機構の広報誌「キズナ」の表紙に採用

- ウ 「嬉泉の新聞」第73号記事掲載
「アトリエ・AUTOSの活動～アトリエ・AUTOSの成り立ち」
 - エ 全国手をつなぐ育成会主催「平成27年度全国事業所研修大会・千葉県大会」
平成28年2月20日～21日開催 資料集表紙絵として「花顔韓国フネ仮面」
(市川浩志作) 掲載
 - オ 東京都生活文化局による「アール・ブリュット振興に係る調査」(㈱富士通総研
が受託) アンケート調査に協力
- (内部)
- ア 世田谷区発達障害相談・療育センターげんきのオープンデーで絵画展示
 - イ ひかりの学園創立30周年記念式典で絵画展示
- その他
- ア アートビリティ(社会福祉法人東京コロニー)契約継続
市川浩志さん、浜ノ園武生さん、持田想一さん
 - イ 公益社団法人日本フィランソロピー協会名刺著作権作品の登録継続
 - ウ 2016年カレンダー(ポストカード仕様)制作販売および配布
(1000セット作製)

(2) 社会化基金の事業

1) 経過

「地域生活援助ホーム(通称・大泉の家)」について、資産保有の現状から売却について理事会、評議員会の承認を得て売却に向けて準備を進めた。

[役員・評議員名簿]

社会福祉法人嬉泉

理事長	須藤祐司	医療法人社団嬉泉会 理事長
常務理事	石井 啓	(福)嬉泉 袖ヶ浦ひかりの学園 園長
理事	高橋利一	(福)至誠学舎立川 理事長
	吉岡則重	(福)東京福祉会 専務理事
	潮谷義子	(学)日本社会事業大学 理事長
	山根美江子	(福)嬉泉 保育・療育統括アドバイザー
	山崎順子	(福)嬉泉 東京都発達障害者支援センター センター長
監事	杉浦宏章	元(社)日本自閉症協会 常務理事
	大森行雄	大森行雄税理士事務所 税理士
評議員	山崎晃資	(社)日本自閉症協会 会長
	小沼康夫	(学)サンシャイン学園 顧問
	中島健一	(学)愛知学院大学 教授
	齋藤 穂	利用者家族
	安田正貴	元(財)世田谷区保健センター 理事長
	金子尚弘	元(学)白梅学園 白梅学園大学子ども学部 教授
	真仁田昭	一般社団法人日本図書文化協会 理事長
	前川千寿子	(福)慶長会 理事長
	相羽美子	世田谷区成城地区民生委員 副会長

*理事は全員評議員を兼ねる。

*任期： 自 平成26年4月1日 ～ 至 平成28年3月31日

年間行事等実施状況

平成27年度

項目 月	行		事		職員研修・職員会議等		広報・啓発事業		職員採用		その他	
	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容
4月					13 16	場長会 園長会						
5月					25 28	場長会 園長会			30	採用説明会	1920 26	監事監査 理事会・評議員会
6月					1 25	場長会 園長会	17- 23	アトリエ・アウトス展				
7月	19 22	赤塚夏祭り 袖ヶ浦夏祭り	25 26	子研夏祭り わかば夏祭り	13 23	場長会 園長会						
8月					15 18	夏季合宿研修(15.16.17) 場長会			22	採用説明会		
9月	27	めばえ・すこやか 秋を楽しむ会			14 17	場長会 園長会					29	理事会・評議員会
10月	25	嬉泉バザー			9 22	場長会 園長会			10	採用説明会		
11月					16 23	場長会 20 園長会 事務職員研修	10- 15	アトリエ・アウトス展				
12月					10 19	場長会 17 園長会 冬季合宿研修(19.20.21)					18	理事会・評議員会
1月	9	年頭所感会	7 12	袖ヶ浦餅つき 子研餅つき	13 21	場長会 園長会					13	理事会
2月	28	嬉泉祭りバザー			2 25	場長会 15 園長会 職種別研修						
3月					7 12	場長会 9 園長会 新人全体研修					25	理事会・評議員会